

夢に向かって生きる



大和北小だより
R5. 12. 25

ひびき合いの日 ～人権について見つめる～



昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なもので、採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、昭和24年(1949年)から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

いじめや虐待、性被害等のことも人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。(法務省 HP より)

12月1日(金)「ひびき合いの日」を行いました。毎年、この時期には、全校で人権について考え、「自分のこと」として見つめる時間を大切にしています。

児童は、7月に「人権七夕」として短冊に「自分の願い(どんなふうに人と関わっていきたいか)」を書きました。今回は、その短冊に書いた願いを振り返り、「自分はこれからどのように人と関わっていきたいか」見つめました。

当たり前のことですが、人はみんな違います。いろいろな人がいて、好みや考え方も異なる中で、一緒にくらしています。時には思いがぶつかったり、くいちがったりすることもあります。そんな中でも、相手のことを尊重し、違いを受け容れ、時には調度いいくらいに距離をとって共に生きてゆく力を身につけていくことは、大切な人生勉強です。

そして、最終的に目指したいのは「誰もが安心して笑顔でくらせる世の中」ですね。

わたしは、みんなとなかよくできるじぶんになりました。さらに、友達にやさしくできて、よい自分になれるようにがんばっていきます。

わたしは、みんなとなかよくしたいです。
一ねん やぎ ゆき



わたしは、友だちの話をさいごまで聞いて反応できるようになりまし。さらに、つけたしをしてどんな手をあげられるようにがんばっていきます。

友だちの話をさいごまで聞いてはなのうしたい
二年 かじうらあさひ

わたしは、友だちにならなくていいです。一人であそぶと、ときどきだけいえるようになったら、だれかに「私もいっしょにあそんでいい?」ときかれたら、いつでも「いいよ。」といえるようになります。さらに、ときどきじゃなくてどんなときでも同じ学年じゃなくても一人であそんでいる子がいたら「みんなであそぶと、いいよ。」といえるようになります。

一人である子がいたら「いっしょにあそぼう」といいたいです。
三年 松田 陽菜



わたしは友達が手伝ったり、何かしてくれたりしたら「ありがとう」と言える自分になりました。さらに、自分が「ありがとう」と言われるように友達の役に立てるような自分になれるようにがんばっていきます。

友達が何かしてくれたり、必ずしてくれたり友達に「ありがとう」と返事をする。
四年 佐藤柳之介

わたしは、学年が上がることも遊べるようになったので成長したと思えたり、呼びかけもたまにできるようになりました。さらに、これからは、もうすぐで六年だから、北小、大和小学校のお手本になりたいし、全校のみんなと仲を深めたいです。だから、学年関係なく遊べるような自分になれるようにがんばっていきます。

私は、学年関係なしに遊んであげたりしたい。
五年 清水 一花

学校生活をつくる主役は児童たちです。仲間との関わりの中で児童一人一人が見つめた「人を大切にすることはどんなことか」「そのために自分は何ができるのか」「自分はこれからどうありたいか」が尊いです。

わたしは休み時間などに仲がいい子だけじゃなくて、あまり話さない子とも話せるようになりまし。今までは仲のいい子といれば安心で、それで満足している自分だったけど、夏休みが終わることから色々な人と関わる機会が増えていきました。しかし、私は、六年生と一年生くらいしかあまり話せないから他学年の子とも、より仲よくなれるように自分から声をかけたり関わったりできる自分になっていきたいです。

みんなと仲よく生活できるように誰とでも話せる自分になりたい
六年 白田 琴香

なぜ大和は「古今伝授の里」「和歌のまち」なのだろうか

12月4日(月)、4年生の児童は、大和第一北小学校の児童と一緒に、東氏についての学習をしました。古今伝授の里フィールドミュージアムの松原さんに講師として来ていただき、東氏と関わる“大和のまちおこし”の歴史についてのお話を聞きました。子どもたちの中で、自分たちがくらしている大和という土地が、“和歌のまち大和であること”につながる時間になりました。まちおこしに携わってきた人の思いに触れ、今、自分たちが日頃から短歌に親しんでいる理由を知り、住民が誇れるふるさとを築いてみえた先人の願いや取組を知り、感謝の思いをもてたりするような学習となりました。



【児童のお礼の手紙より】松原さん ありがとうございます。

- 東氏館跡庭園が見つかって、特徴がある町になったことを知れてよかったです。岐阜県以外の人から「大和のことをほめてもらえる」ことを知り、大和に住んでいることがうれしくなりました。
- 分からない言葉もあったけど、いろいろなことが知れてよかったです。オペレッタのことを聞いて、オペレッタを早くやりたいと思いました。やりたい役ばかりだから、どの役がいいかまよいます。
- 和歌で還った篠脇城の出来事は、本当にあった話だとは、すごいと思いました。
- 東氏のことを知れて、オペレッタもがんばりたいと思いました。もっと東氏や常よりのことを知りたいです。



東氏やまちづくりに関わる学習は、これからも続き、オペレッタの学習へとつながっていきます。

子どもたちがどんなことに気づき何を感じ、考えていくのが楽しみです、その学習を通して

自分たちがくらしている地域を大好きになってほしいと願っています。

すばらしい大和の和歌がわかったよ
歴史をせおいひきついでいく

大和町常よりがいた時代から
今も引きつぐ大切な和歌

常よりが住んでいたんだ大和町
宗祇にわたすよ古今伝授

短歌はねじょうずじゃないよわたしはね
常より大好き教えてくれよ

この町は東氏おさめた和歌の地だ
これから先も守りつづける

大和町東氏の館庭園に
大和町にはとくちようできた

つねよりがつくったお城みてみたい
城で常より何していったの

この時間に学んだことをもとに
子どもたちが詠んだ短歌です

夢や目標に向かってがんばる北っ子

【郡上かるた大会】〈小学生高学年部門〉優勝 M&N チーム(5年)青木 和奏さん(ほか 他校の2名)

ベスト8 SRS チーム(6年)廣野 莉子、古田 紗羽、(5年)小野木咲心

【サッカー】サーラチャレンジカップ 敢闘賞 大和ジュニアサッカークラブ(4年)佐藤 成夏、林 佑衣夏(3年)山本 純大

【サッカー】郡上八幡ロータリークラブ ミニサッカー大会〈Cクラス〉準優勝バイエルンヤマト(4年)佐藤 成夏

【郡上の子ども書写展】最優秀賞(1年)山下 陽菜乃

優秀賞 (2年)梶浦 旭陽(5年)青木 和奏

優良賞 (3年)朝日 彩羽(6年)廣野 莉子

入選 (2年)畑中 晴菜(3年)池田 葵依(4年)林 佑衣夏、荒井香乃

(5年)南 希空(6年)古田 紗羽

【市図工展】優秀賞(3年)山本 純大(5年)安藤 楓(6年)笠野 香穂

入選(1年)畑中彩千巴(1年)高橋 愛菜(2年)青木 怜那(2年)河合 晴翔(3年)伊東 楽成

(4年)重谷 柚(4年)河合 悠陽(5年)安田 来未(6年)山本 雄大

【私が考えた学校給食メニューコンクール】(公益)岐阜県学校給食会

夏休みに、5、6年生の人たちが、地場産物を使用した学校給食にふさわしい献立を考えてくれました。

〈主食部門〉優秀賞(5年)佐藤 来樹〈副菜部門〉優秀賞(5年)安田 来未〈副菜部門〉アイデア賞(6年)河合 琉花